

みんなのまち湖山西

たこあげ・もちつき大会開催

去る1月23日(日)、湖山西まちづくり協議会と湖山西小学校PTAとの共催による、たこあげ・もちつき大会が開催されました。今年も児童・保護者をはじめ湖山西地区住民やまちづくり協議会実行委員会の皆さん、さらには湖山西小学校の校長先生や先生方にご参加いただき、大変にぎやかな大会となりました。今年は、老人会の協力で作製した連凧を揚げる予定でしたが、雪の影響で披露することが出来ず残念でした。皆さまのご協力のおかげで無事開催することができ感謝いたしますとともに、また来年もたくさんのご協力によるしくお願ひします。

風よ。また来年

青少年育成部長 大久保 弘

積雪10センチ。真つ白な校庭に無数の凧が舞い上がる姿を夢みていましたが、かないませんでした。風が、ない。

新春たこあげ・もちつき大会も、今回で二回目。昨年は初めての行事ということもあり、いろいろと反省点多々あり、それを踏まえての大会実施となりました。

まずは凧づくり。ひし形の凧の形に紙を切って、そこに自分の好きな絵を描きます。昨年は1時間ぐらい白い紙とニラメッコをしていた子がいたとかで、今年はあらかじめ描く絵を考えて来てもらいました。紙いっぱいに絵を描く子、隅っこに名前だけ書く子、思い思いです。そして、お揃いのハッピを着た、まちづくり協議会のスタッフの手を借りながら、凧に竹ひごを張り、足をつけて子どもたちの凧は完成。

つぎは餅つき。最近の子どもたちは、杵と臼で餅をつく機会なんてほとんどありません。新鮮な体験のようです。つき上がった餅を小さな餅にするために、子どもたちが横一列に頭を並べて楽しそうに、小さな手で餅をこねている姿は、なんとも微笑ましいものでした。そして、つきたてのお餅でつくったぜんざいときなこ餅を、いただきます。

最後は凧あげ大会の予定だったのですが、風がありません。またの機会に。積雪10センチの校庭を、凧を引っ張って懸命に走っている子がいました。お父さんがいました。

来年も参加して下さい。最後に、まちづくり協議会の皆様、関係団体の皆様のご協力に対して、ここらよりの感謝を申し上げます。

湖山西まちづくり協議会たより「第7号」
発行年月日 平成23年3月1日
発行責任者 会長 大久保良隆
事務局 湖山西地区公民館「331・3581」

地域行事を大切に

西小PTA会長 鳥飼 敏博

今年も餅つき・たこあげ大会が無事に終了しました。多くの子どもたちが参加でき、地域の皆様とふれあう良い機会となりました。ご準備、ご尽力いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

この餅つきに使用されたもち米は、湖山西小学校の5年生が授業の中で、地元の方にご指導いただきながら育てて収穫したものです。生徒たちにとっては、もち米を育てた体験だけでなく、それを食材として加工して食べるという生きた食育学習であったり、育てたもち米を介して、幼児から祖父母世代まで多くの地域の方々が集まってくださったという充実感を大いに感じてほしかったのですが、どこまで感じてくれたでしょうか。いずれにしても、約半年間、頑張つてもち米を育ててくれた5年生の皆さんに感謝の思いです。

最近では、杵と臼で餅つきをする機会が減りました。子どもたちだけでなく、親世代でも餅つきの立ち位置が分からなかったり、餅を丸めた体験のない割合が増えつつあります。同様に、子どもの頃にしていた凧づくりの記憶もほとんどなくなりました。季節の代名詞とも言える伝統行事をしっかりと次の世代に伝えていくためにも、親子でこういった行事に積極的に参加して、一緒に楽しみながら体験してみるのも一つの方法です。そういった上手な公民館活用術を是非ご家庭でもお考えくださればいいのには、と思った一日でした。



編集後記

今年もたこあげ・もちつき大会が無事終了しました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。地域住民がつながりあるよい機会です。また来年も多くの参加を願います。今回から「私の町内こんなとこ」と題して、皆さんから原稿を募集し、町内を紹介していきます。「きれいな花が咲いている」「ここから見る景色が素敵」など、どうぞしお寄せ下さい。

湖山西スポーツサークル紹介

私達は「ライラック」というサークルです。
毎週火曜日 時間14:00~16:00
2時間、健康のために楽しく卓球(ピンポン)をしています。

場所 湖山西地区公民館・体育館
どなたでも気軽に遊びに来ませんか?
年に1回お食事会を開いています。
お待ちしております☆

私の町内こんなとこ

北4丁目の「ちどり会」

ちどり会世話人 田中宏幸

北4丁目は、町内会が発足して40年余となつて御多聞にもれず少子高齢化が進んでいます。

町内会には年代別に専門部もありますが、この「ちどり会」はこの年齢差を取つ払って老若男女が集う活動を広げ、町内への貢献、年齢の違う町内会員の親睦を図ることを目的に生まれました。ちどりの名称は、皆が飲みすぎて町内会間からよたよたとちどり足で家に帰って行く様子を名にしたものです。会員は現在30人余で、定期的に発行する会報(ちどりかわら版)には「ちどり会」の行事案内のほかに、それぞれの会員の近況をのせています。

毎年の活動は定着したものもありますが、町内会の組織ではないのでその時の思いつき、独善的に行うものもあります。その活動内容としては、6月頃のバザー、町内の納涼祭での協力、年末(12月31日)のもちつきなどが主なものです。その他に高齢者世帯へもちつきのもち配布、積雪時の除雪なども行っています。

さらに、「ちどり会」には趣味のグループがあつて、音楽演奏、山登り、魚釣り、ハイキングなどを行っています。詳しくはホームページを立ち上げていきますので「ご覧ください」。(アドレス・<http://www.geocities.jp/chitorikai/>)この内、音楽演奏は「ちどりバンド」と言つて、町内イベントのオープニング演奏をしていますし、他の町内会から頼まれれば気軽に出演して行っています。又、先日は地区同推協主催の北四丁目小地域懇談会の研修前に「ミニ人権コンサート」を行いました。このバンドは2週間に1回土曜日の夜に町内会館で練習をしていますので、その技量も練習合間に飲む酒の量とともに格段に上達しています。

先に申しましたように「ちどり会」は、町内会の組織ではなく年齢の違う会員で構成する任意団体ですので、この活動を行なう中であつて町内の長老の方々から意見を聞いたり、町内会、専門部への叱咤激励を受けたり、そして別の一面では人のつながりによつて、町内会専門部の会員、役員を発掘するところにもなっています。